

ひおき 市議会だより



平成21年5月
第16号



地域の伝統はぼくたちが守ります。(東市来・荻集落棒踊り)

3月定例会 主な内容

- ごみの持ち去り禁止の条例を可決!! … P 2
- 20年度3月補正のクローズアップ … P 4
- 請願・陳情／議会の動き…………… P 5
- 議案審議の中身は? (3月補正予算) … P 6
- 21年度当初予算スタート!! …… P 8
- 議案審議の中身は? (当初予算) … P 10
- 一般質問…………… P 14
- 追跡調査 (あの質問はどうなった!) … P 21
- 委員会レポート (所管事務調査報告) … P 22
- 傍聴案内・編集後記…………… P 24

持ち去りを

禁止

3月定例会を2月27日(金)から3月30日(月)までの32日間にて開催し、条例や20年度補正、21年度当初予算議案など48件、議員からの発議議案3件、意見書1件を可決しました。

議決された議案

議員発議

日置市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正

本市の財政の健全化に寄与するため、18年度から実施している報酬月額減額を任期満了日まで引き続き行う。

【主な内容】

減額率…3%。
期間…21年4月1日～5月28日。

《全会一致で可決》

日置市議会委員会条例の一部改正

次期選挙から議員数が22名になるため、現行の4委員会を3委員会にする改正。

【主な内容】

総務企画委員会…8人。
文教厚生委員会…7人。
産業建設委員会…7人。
《全会一致で可決》

日置市議会会議規則の一部改正

次期選挙から議員定数が22名になるため、議員が提出する議案や修正の動議での賛同者の数を現行の「2人以上」を「1人以上」とする改正。

《全会一致で可決》

条例制定

日置市地域づくり振興基金条例の制定

地域活性化の推進を目的として交付される国の2次補正の地域活性化・生活対策臨時交付金を管理する基金の設置。

《全会一致で可決》

日置市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

21年度の介護報酬改定に伴う、介護保険料の急激な上昇を抑制する目的で交付される、介護従事者処遇改善臨時特例交付金を管理する基金の設置。
使用用途…第1号被保険者の介護保険

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定

児童福祉法等の一部改正により、日置市保育の実施に関する条例、日置市国民健康保険条例、日置市ひとり親家庭等医療費助成条例の改正。

《全会一致で可決》

日置市立保育所条例の一部改正

日置市立伊集院北保育所を民間に移管するための改正。

《全会一致で可決》

日置市立伊集院北保育所条例の一部改正

日置市立伊集院北保育所を民間に移管するための改正。

《全会一致で可決》

日置市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
ごみステーションから一般廃棄物の持ち去りを禁止することや罰則規定を設けるための改正。

【主な内容】

罰金…20万円以下。
《賛成27・反対2で可決》

日置市下水道審議会条例及び日置市水道事業運営審議会条例の一部改正

水道課と下水道課を統合して、上下水道課とする組織機構の見直しによる改正。

《全会一致で可決》

日置市水道事業の設置等に関する条例の一部改正

つつじヶ丘地区簡易水道事業の給水区域・給水人口、1日最大給水量の変更と上下水道課となるため改正。

【主な内容】

対象地域…伊集院町上神殿、中神殿、下神殿1区、下神殿2区の一部、下神殿3区、下神殿4区の一部。

給水人口…980人を1880人。
給水量…374㎡を767㎡。

《全会一致で可決》



平成22年度から民間へ移管される伊集院北保育所

ごみステーションからの



ごみステーションからの持ち去りはダメ!!

日置市介護保険条例の一部改正

21年度から23年度までの介護保険料を算定する第4期日置市介護保険事業計画を策定したための改正。

《全会一致で可決》

日置市長等の給与の特例に関する条例の一部改正

本市の財政の健全化に寄与するため、18年度から実施している給料月額削減額を任期満了日まで引き続き行う。

【主な内容】

削減率…市長15%、副市長10%、教育長8%、管理職手当10%。

期限…市長5月28日まで

で・副市長7月21日まで・教育長6月10日まで・管理職手当22年3月31日までの間。

《全会一致で可決》

日置市長等の給与の特例に関する条例の一部改正

本市の財政の健全化に寄与するため、職員の給料月額を削減する。

【主な内容】

削減率…一律2%。

対象者…全職員。

期限…21年4月1日～22

《賛成26・反対3で可決》

年3月31日まで。

その他議案

鹿兒島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿兒島県市町村総合事務組合規約の変更

大隅中部火葬場組合の解散等で、同総合事務組合を組織する団体の減少と組合規約の変更を協議するため。

【主な内容】

脱退する団体…大隅中部火葬場組合、始良伊佐環境保全センター管理組合、肝属地区介護保険組合。

加入する団体…種子島産婦人科医院組合。

名称変更の団体…肝属地区一般廃棄物処理組合を大隅肝属広域事務組合に変更。

《全会一致で可決》

鹿兒島県市町村総合事務組合の財産処分

4月1日に始良伊佐環境保全センター管理組合が解散したので財産処分について協議するため。

《全会一致で可決》

《新議案》

契約議案

日置診療所建築工事請負契約の締結
日置診療所建築工事を着工するため、工事請負契約を締結する。

【主な内容】
金額…1億4154円。
契約の相手…(株)重留建設。
工期…22年1月15日まで。

《全会一致で可決》

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
・21年6月30日で任期満了のため議会の意見を求める。

《継続》
岩下 輝子氏 東市来地域

《新規》
益満 和子氏 伊集院地域
・前委員が21年2月28日付で解雇したので、議会の意見を求める。

《新規》
森園 圭子氏 日吉地域



子育て応援 特別手当事業

補正額 3億24万円

平成20年度末で3歳から5歳児で、第2子以降の児童を対象に一人当たり3万6千円を支給する。

平成20年度
3月
補正予算
クローズアップ

地域活性化・生活対策臨時交付金事業 一般道路整備事業

補正額 1億1,530万円

国の景気対策のための2次補正予算を、市内54路線の工事請負費等の事業に充てる。



一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後予算
一般会計	6億8,731万5千円	235億2,116万9千円
国民健康保険	3,212万1千円	67億1,034万円
老人保健医療	3,542万6千円	8億1,999万8千円
特別養護老人ホーム事業	3万8千円	3億1,001万2千円
公共下水道事業	△1,822万円	6億9,314万4千円
農業集落排水事業	△54万3千円	4,059万8千円
国民宿舎事業	△4,100万円	2億3,977万1千円
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	△93万円	941万8千円
住宅新築資金等貸付事業	0円	501万円
介護保険	△8,431万4千円	43億619万円
後期高齢者医療	△1,464万2千円	5億5,448万2千円
診療所	△278万2千円	3,411万8千円

△は、マイナス

公営企業会計（収益的収入及び支出）

会計名	補正額	補正後予算
国民健康保険病院	3億5,898万3千円	3億5,898万3千円
水道事業	49万7千円	7億4,715万5千円

△は、マイナス



定額給付金 給付事業

補正額 8億5千万円

住民への生活支援と地域の経済対策として給付対象者1人につき12,000円（ただし、基準日において65歳以上の者及び18歳以下の者については20,000円）支給される。

請願書・陳情書はこうなりました！

3月定例会で審議された皆さまからの請願書・陳情書は次のとおりです。

陳 情 書				
件 名	提 出 者	付 託 先	【意見書提出先】	結 果
WTO農業交渉に関する陳情書	さつま日置農業協同組合 代表理事組合長 松崎 俊明 県農民政治連盟さつま日置支部 支部長 松崎 俊明	産業建設 常任委員会	内閣総理大臣、 農林水産大臣、 外務大臣、経済 産業大臣ほか	採 択
九州旅客鉄道線（湯之元駅付近）北側に市道整備事業と鉄橋ならびに踏切の改良事業を求める陳情書	竹下 紘一 芝 龍郎 斉藤 宏	産業建設 常任委員会		継続審査
九州電力の川内原発3号機増設反対の意見書提出について	グリーンコープかごしま生活 協同組合本部組合員事務局 小菌 元子 かごしま南支部組合員事務局 谷崎 りか 理事長 川原ひろみ	総務企画 常任委員会		継続審査
川内原発3号機増設に関わる環境影響評価の県民合意を図るとともに、増設反対を求める意見書の採択について	日置市の自然と子どもの 未来を守る会 室屋 承子	総務企画 常任委員会		継続審査
日置市議会の抜本的な改革を求める件	涉 秀憲	議会運営委員会		継続審査

議会の動き

2月3日	行政視察来庁 (岐阜県大垣市議会)	9日	議会運営委員会
4日	行政視察来庁 (長崎県大村市議会)	〃	全員協議会
6日	行政視察来庁 (神奈川県座間市議会)	10日	第1回定例会
9日	行政視察来庁 (福岡県嘉麻市議会)	11日	第3本会議・一般質問
12日	行政視察来庁 (秋田県能代市議会)	13日	第1回定例会
13日	行政視察来庁 (南大隅町議会)	13日	第4本会議・一般質問
18日	教育文化常任委員会 所管事務調査(市内)	16日	常任委員会
19日	全員協議会	17日	常任委員会
20日	議会運営委員会	18日	常任委員会
27日	全員協議会	18日	常任委員会
〃	第1回定例会(第1本会議)	27日	議会運営委員会
〃	広報編集委員会	30日	全員協議会
3月3日	常任委員会 (総務企画・環境福祉・ 産業建設・教育文化)	〃	第1回定例会(最終本 議)
9日	第1回定例会 (第2本会議)	4月3日	広報編集委員会
		21日	議会運営委員会
		〃	全員協議会
		〃	行政視察来庁 (指宿市議会)
		22日	行政視察来庁 (愛知県新城市議会)

議案審議の中身は？

常任委員会 審査報告

総務企画

日置市地域づくり振興基金条例の制定

質疑の主なもの

問▼地区公民館の課題解決に使うとのことだが、方法、場所、金額はどのように決めるのか。

答▼館長、指導員、自治会長と4月以降に協議をする。

一般会計補正予算 質疑の主なもの

問▼寄附金50件の内容は。

答▼使途の目的が子育て支援や健康づくりである。市に入った分は、日吉町分が多く、小中学校の図書購入などの目的であった。

問▼自主防災組織の状況はどうか。また、なかなか組織が結成されない理由は。

答▼結成状況は、吹上が4、日吉が1の合計5団体。結成後、継続して活動ができにくい。今後も自治会に組織づくりの説明を続ける。

問▼コミュニティバスの委託料減額の理由は。

答▼20年度から実際走行し

たキロ数に、単価をかけて算出している。運休があればその分が少なくなる。

問▼消防団員の不足で募集や働きかけの方法は。

答▼定員は613名で55名の不足である。幹部会を通してお願いしている。

問▼指定管理者の施設は他にもある。ゆーぶるだけ管理料を見直すのはなぜか。公平性を欠くのではないか。

答▼収入見込みを多く見すぎた、反省している。収入増につながるような検討もしたが、その成果が出なかった。利用状況は、温泉利用者が前年度比で3000人減、宿泊、食堂の利用も減少している。

問▼今回のことを契機に、



指定管理料が増額されるゆーぶる吹上

常任委員会 審査報告

現在の指定管理料を客観的に適正な額に検討する考えはないか。

答▼指定管理の施設はたくさんある。最初から、契約更新時期に指定管理料を検討する方針であった。適正かどうかも含めて検討する。

国民宿舎事業特別会計補正予算 質疑の主なもの

問▼昨年バイキングを中止したが、その判断は正しかったのか。

答▼中止した理由は、経費の面もあるが調理師の勤務の負担が大きかった。

国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計補正予算

歳入の主なものは、一般会計繰入金金の減額などである。歳出の主なものは、一般事業費の執行残の減額などである。

環境福祉

日置市介護従事者処遇改善

善臨時特例基金条例の制定 質疑の主なもの

問▼交付額2900万円の算定基礎は。

答▼21年度から23年度までの3カ年間の事業計画では、第1号被保険者のうち2800人が介護認定者でサービスを受けている。本県のサービスに対する報酬は2・8%の上昇である。この上昇分で見込んでいます。

日置市立保育所条例の一部改正 質疑の主なもの

問▼平成22年4月に民間移行するが、園の改善等はあるのか。また築年数は。

答▼具体的には、現状のまま引き継ぐ。築年数は6年である。

問▼職員はどうなるのか。

答▼保育士は、本人の希望を聞きながら考えたい。所長は、事務職なので行政へ異動となる。

問▼民間移行後の調整はどう考えているのか。

答▼急激な変化がないように、現状を基本として移行するようお願いしたい。

問▼保育料など負担増はないのか。

答▼保護者会の負担金はあると思う。今後、市が間に

入り保護者の要望など聞き、できる限り要望等に添えるよう流れをつくりたい。

日置市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 質疑の主なもの

問▼日置市の住民が鹿児島市のごみ条例違反に抵触し逮捕されているが、日置市ではどうなのか。

答▼日置市でも同様の行為をしていた。伊集院地域は20年4月から資源ごみが袋収集になり、持ち去りが横行している。市民からの通報は84件で、それを基に条例改正となった。

問▼ごみステーションの配置と設置の条件は。また今後の動向はどうなのか。

答▼東市来300カ所、伊集院460カ所、日吉129カ所、吹上230カ所である。増やす計画はない。

問▼持ち去りをするのは業者か個人か。また持ち去りの量はどうか。

答▼持ち去りは個人である。量は、昨年と比べ合計で45・52%少ない。大きな要因として南日本新聞社の自主回収も要因にある。

質疑の主なもの

問▼ねりんピックの参加人数と経済効果は。

答▼経済効果は、市内で3018万円程度、市外で1718万円程度である。参加者数は、ソフトボールとウォークラリーの選手役員を合わせて3635人。市内宿泊者は、11施設で1045人の1069万円。

問▼配食車の購入、保有台数、配食サービスの実態は。

答▼21年2月時点の登録は、371人で291人が配食を受けている。20年度の配食見込みは、14万1534食で減少傾向である。保有台数は東市来3台、伊集院4台、日吉2台、吹上3台である。購入は、市内業者で見積入札になる。



増台される配食車

国民健康保険特別会計補正予算

質疑の主なもの

問 国保税は徴収が年6回で重税感を感じる方も多い。納めやすくできないか。

答 検討の認識はある。しかし年金からの徴収が年6回であり難しい。

介護保険特別会計補正予算 質疑の主なもの

問 介護認定訪問調査員は、8人だが十分か。また苦情や審査での主治医の意見書作成の費用は。

答 認定申請は、月340件程度の一人40件程度になる。結果への不満の方はいないが、調査員には苦情はない。主治医は、年間約4000件の意見書を作成している。1件当たりの費用は、新規で在宅の方は5000円、新規で施設の方は4000円、継続更新で施設の方は4000円、継続更新で施設の方は3000円に消費税である。

後期高齢者医療特別会計 補正予算 質疑の主なもの

問 国保の時の保険料と後期高齢者の保険料とはどうか。

答 国保の保険料は自治体ごとに違う。後期高齢者の保険料は県で統一されている。

産業建設

日置市水道事業の設置等 に関する条例の一部改正 質疑の主なもの

問 下神殿3区の一部が区域外になるが、将来はどうなるのか。

答 簡易水道の拡張でないと国庫補助の対象にならない。今後は、市全体の事業認可をやり直し、水道事業を一本化して整備をしたい。

一般会計補正予算 質疑の主なもの

問 農業委員が、2名辞任をしたが、その理由は。

答 辞職した理由は、体調不良と一身上の都合である。

問 担い手農家結婚支援事業の成果は。また今後の計画は。

答 昨年は、1組に結婚支援金を支給した。アンケートで「これまで女性との交流がなかったため、良かった」「今後も開催して欲しい」などの要望等もある。今後、反省点など内容を検討しながら改善して実施する。

問 集落営農で田代地区が

大豆のコンバインを購入するが、受益者負担が2分の1は大変である。この地区はうまくいっているのか。

答 経営状況は特に悪いとは聞いていない。米作だけでは大変なので、大豆を入れていく。他に水稲作業の受託や自然薯の栽培もしている。集落営農に取り組んでいるのは、田代、下養母・元養母、古城、吉利である。

問 市有林の間伐委託料が減額の理由は。また間伐の状況は。

答 25haを3工区に分けて入札をしたが、不調に終わった。間伐の状況は、搬出を含めて5カ年間で実施する。20年度は、東市来10ha、伊集院1ha、日吉5ha、吹上25haの計画。



間伐された市有林

問 道路や河川愛護作業は、ボランティアである。報償費の執行残があるのか。

で、もう少し考えるべきでは。

答 愛護作業は、自治会で決めることである。できる範囲でお願いをしている。河川関係では、県で「みんなの水辺サポート推進事業」があり、補助がでる。

公共下水道事業特別会計 補正予算 質疑の主なもの

問 荒瀬地区のポンプは、リースである。常時使用するのであれば購入することも検討しないのか。

答 8・6水害を機に、避難できる道路等を確保するため、ポンプと発電機を設置している。購入した場合のメンテナンスを考慮した場合リースが安くなるため現在に至っている。

住宅新築資金等貸付事業 特別会計補正予算 質疑の主なもの

問 未納者に対する請求はどうしているのか。

答 3月に1回程度文書を発送している。訪問は年2回行っている。

水道事業会計補正予算 質疑の主なもの

問 日吉から吹上に管を布

設しているが、現在の状況は。また日吉が水不足にならないのか。

答 現在工事中である。供用開始はしていない。

教育文化

一般会計補正予算 質疑の主なもの

問 市内に複式学級は何校あるのか。また基準は。

答 8校ある。うち2校は完全複式学級。1学年で16人以下になると複式学級になる。1年生は、1年と2年を合わせて7人以下は複式になる。基準日は入学式である。

問 姉妹・友好都市などの交流事業を検討する考えはないか。

答 2022自治会がある。地区公民館は、地区で運営状況に差があるが、現在は地域の特性を活かしながら改善され、順調に運営している。

問 日置市全体で体育施設にかかる運営管理費はいくらか。また使用料との収支状況はどうか。

答 19年度で施設使用料が3300万円、管理運営費に2億1700万円である。市内に47施設あり。21年1月末の利用者は、54万3千人である。



複式学級の様子 東市来美山小

問 新年度も予算化しているが、今後の交流のあり方は検討する。北海道弟子屈町は、小・中学生を対象に

336億円でスタート!!



日置市の未来に向かってスタート!!

●一般会計・特別会計

(単位：千円)

会計名	21年度 当初予算	対前年度		採決の状況	
		増減額	増減率		
一般会計	192億5,900万円	△31億2,800万円	△14.0	原案可決	
特別会計	国民健康保険	67億7,643万円	2億1,445万円	3.3	原案可決
	老人保健医療	955万円	△7億5,441万円	△98.7	原案可決
	特別養護老人ホーム事業	2億9,035万円	348万円	1.2	原案可決
	公共下水道事業	5億4,819万円	△1億6,513万円	△23.1	原案可決
	農業集落排水事業	3,951万円	△146万円	△3.6	原案可決
	国民宿舎事業	2億5,757万円	△2,247万円	△8.0	原案可決
	国民保養センター及び老人体養ホーム事業	264万円	△600万円	△69.4	原案可決
	温泉給湯事業	531万円	4千円	0.1	原案可決
	公衆浴場事業	125万円	1万円	0.8	原案可決
	飲料水供給施設	164万円	113万円	224.1	原案可決
	住宅新築資金等貸付事業	466万円	△34万円	△6.9	原案可決
	介護保険	43億4,775万円	5,822万円	1.4	原案可決
	後期高齢者医療	5億9,469万円	△4,152万円	△6.5	原案可決
	診療所	3億5,361万円	3億1,891万円	919.1	原案可決
	合計	324億9,221万円	△35億2,313万円	△9.8	

(予算額は千円以下を切り捨て、△はマイナス)

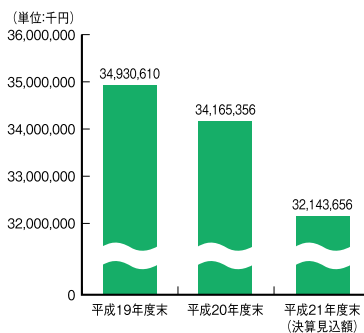
●公益企業会計(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

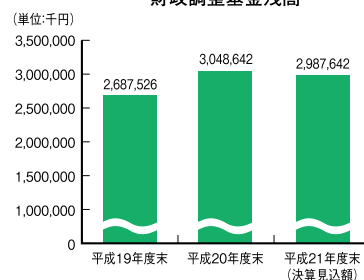
会計名	21年度 当初予算	対前年度		採決の状況
		増減額	増減率	
国民健康保険病院事業	3億5,695万円	△560万円	△1.5	原案可決
水道事業	7億5,861万円	1,145万円	1.5	原案可決

●市債残高・財政調整基金の残高

市債残高



財政調整基金残高



平成21年度当初予算は、市長の改選期にあたることから1年間の行政活動すべてにわたっての予算計上が適当でないために、新規施策や政策的経費を除いた予算編成となった。当初予算は、所管ごとに各常任委員会に付託され、慎重に審議を行った。結果は本会議において各委員長より報告され、質疑・討論の後、採決により全て原案のとおり可決した。

平成21年度 当初予算

政策的経費を除いた 骨格予算 **総額**



水道未普及地域の解消に 1億3,400万円

伊集院北地区（上神殿・中神殿・下神殿）を
つつじヶ丘団地簡易水道の飛び地区域として
水道施設の整備をする



消防ポンプ車購入 3,950万円

消防本部の水槽付消防ポンプ車の購入と
消防団の小型過搬ポンプ3台分の購入



妊婦一般健診を5回から14回へ回数増
や母子健診・相談・教室の実施をおこ
なう。

妊婦健診が 14回

5,800万円



診療所を建設

市民病院を診療所として平成22年4月に開設する
ため、建設費や医療機器等の整備をおこなう。

3億5,200万円



議案審議の中身は？

常任委員会 審査報告

総務企画常任委員会

平成21年度一般会計

質疑の主なもの

問▼電算入札システム開発負担金があるが、開発の状況は。また電子入札の時期は。

答▼現在の登録数が、建設工事160社である。市内業者は、81社。委託業務で66社のうち市内業者は、6社である。既に模擬入札を実施している。4月1日以



市民の足であるコミュニティバス

降準備が整う業種から本格実施に入る。

問▼指定管理期間が21年度までである。契約更新の手続きの時期は。また指定管理料の見直しはするのか。

答▼20年度までの管理運営評価調書を基に、所管課で方針と次期の取扱いを決める。7月ごろに選定委員会を開催し、指定管理料や方針を決定する。12月議会に指定議案の上程となる。

問▼地域公共交通会議の結論はいつ頃なのか。

答▼交通会議では、乗り合いタクシーの方法で検討されると思う。タクシー事業者等や既存のバス事業者と協議を行い、交通会議でまとめて陸運局の手続きをす。意見の集約が早くできると、8月ごろには試験運行ができると思う。

問▼健康交流館ゆーぶる吹上への対策は。

答▼現在の契約が21年度までである。それ以降については、今年の夏ごろまでに方針を決める。通常の宿泊施設として運営するには、

温泉組合との協議が必要になる。

問▼タイヤロック装置の概要は。

答▼タイヤに輪止めをして運転できないようにする装置である。県内では12団体が導入している。



導入予定のタイヤロック

国民宿舎事業特別会計

質疑の主なもの

問▼予算編成をするには、経営計画に基づいて作成すべきではないか。

答▼全体の収益の中で、当然基金として積み立てなければならぬ部分もある。

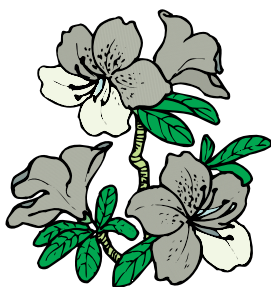
修繕、営繕、備品を確保した上で、さらに賄い材料など、昨年の実績を踏まえて目標設定し、総合的に勘案している。

国民保養センター及び老人 休養ホーム事業特別会計

質疑の主なもの

問▼修繕料は現時点では、100万円で済むのか。

答▼突発的なものは温泉配管の漏水である。



環境福祉常任委員会

平成21年度一般会計

質疑の主なもの

問▼生きがいデイサービスで、配食料金に単価の違いがある。料金の統一は。また他市との比較はどうか。

答▼24年度までに伊集院・日吉・吹上を374円まで引き下げようと調整しているが難しい。一気に下げると人件費を支えきれない。

19年度で薩摩川内市808円。霧島市610円。阿久根市506円。出水市1109円である。

問▼母子家庭自立支援給付事業は、具体的にどんな訓練をしているのか。また対象者数は見込みなのか。

答▼予算は見込みである。自立支援訓練給付費は、受講料の5割相当分で1人10万円である。ヘルパー等、短期間で資格を取得してもらう。高等技能訓練促進は、難度が高い看護師などが対象である。現時点は1人が訓練を受けている。

問▼生活保護は、地域別にならぬか。

答▼増える傾向にある。原因は、収入減、失業、倒産等である。地域別では、平

成21年1月現在で、東市来

92世帯で135人。伊集院93世帯で151人。日吉32世帯で52人。吹上62世帯で77人である。

問▼国民年金の加入率が悪いと聞くが、県と市の加入率と納付率は。

答▼本市の1号被保険者が6992人、3号被保険者が4009人である。一般と学生の免除者は2642人で免除率は37・7%。加入率は100%である。納付率は免除を含めて72・6%。県の数字は把握していない。

問▼資源ごみの有価物売却代が昨年より減少している。今後の見通しは。

答▼下げ止まった状態ではない。現在、有償で引き取ってもらっている分は、単価が下がると収入減で済むが、逆に有償になると年度途中で歳出を組むこととなる。

問▼出生率はどの位か。

答▼17年度が358人。18年度が367人。19年度が412人で増加傾向。



子どもは未来の宝です

国民健康保険特別会計

質疑の主なもの

問▼レセプト点検で、不正請求と過重な診療などの状況はどうか。

答▼19年度実績で、1847枚の5012万円を申請したが、減点となったのは1328枚の242万円であった。病院によっては同じ内容を間違えることもある。

問▼国保税の徴収率は、目標を達成したか。

答▼20年度は前年度に比べて落ちていく。県内18市のうち



青松園の様子

を発行予定である。

特別養護老人ホーム事業特別会計

質疑の主なもの

問▼正規職員が減ってきているが、今後の運営に影響はないのか。

答▼臨時職員も介護福祉士の免許を持っている。就業の面では問題はない。5年後は、正規職員が定年退職などで10人になる予定。

問▼入所者の介護度や待機者の状況は。

答▼介護度は、要介護1が4人。要介護2が9人。要介護3が23人。要介護4が22人。要介護5が22人である。待機者は、60人程度で6ヵ月から8ヶ月待っている。

温泉給湯事業特別会計予算

質疑の主なもの

問▼基金の目的は何か。

答▼源泉は3ヵ所あるが、湯量が減ってきている。今後、送湯管の修理や貯湯槽改修等にあてたい。

公衆浴場事業特別会計

質疑の主なもの

問▼指定管理者の経営状況は。

答▼19年度は黒字であったが、20年度は赤字の報告である。

介護保険特別会計

質疑の主なもの

問▼介護保険料は、据え置きであるが、3年間大丈夫なのか。

答▼算定は、3カ年間の人口とサービス利用者の推計、更にサービス利用量から、介護保険準備基金を引いた額を該当者数で割って算出している。

後期高齢者医療特別会計

質疑の主なもの

問▼後期高齢者の対象人数は。また滞納者の状況は。

答▼対象者は、1月現在で8721人である。徴収率は、普通徴収が94・35%、特別徴収が100%で合計98・21%である。

問▼医療費は、上昇傾向にあるが、後期高齢者医療広域連合納付金の額は、前年度より減っている理由は。

答▼医療費が上がれば連動して給付費も上がる。県広域連合からの数字である。法改正で軽減措置されたことも理由の一つである。

産業建設常任委員会

平成21年度一般会計

質疑の主なもの

問 農業者年金の受給者、加入者の状況は。

答 受給者は、伊集院102人、東市来179人、日吉48人、吹上127人である。被保険者は、伊集院10人、東市来12人、日吉11人、吹上19人である。

問 地域づくり整備事業補助金の内容は何か。また地区振興計画との関係は。

答 単独事業で2300万円である。6月に地区振興計画の補正予算が計上される。それまで執行を控える。地区振興計画は、農林水産



新たに建築される榎園住宅の敷地（日吉）

課関係で420件の32億円程度である。国県補助事業などで対応できるか振り分けをしている。

問 米の生産調整で、飼料用米と焼酎の米麴用米の栽培が話題になっている。遊休農地解消に必要と考えられるがどうか。

答 小正酒造から地元産米の利用の話がある。米の品種やコストのわからない栽培方法を1年間かけて検討したい。

問 噴水施設点検業務委託の場所はどこか。

答 妙円寺中央公園の噴水である。

問 徳重地区土地区画整理の完成予定は。

答 24年度の完成予定。

問 つつじヶ丘団地を自然流下方式で下水道に

つなげるが、郡

の質疑の主なもの

地区との高低差はどの程度か。また郡の梅落地区はどうか。

答 高低差は二十数mある。梅落地区は、配管沿線から自然流入可能な所は、区域外でも流入できるという要綱があり可能ではない。

問 今回、骨格予算なのにつつじヶ丘団地の事業を当初予算に計上した理由は何か。

答 国の下水道未普及地域解消プロジェクト事業が23年度までである。早めに申請した方が良いと判断した。

問 つつじヶ丘1区の住民で、単独・合併浄化槽の方々がなぐか心配である。

答 合併浄化槽の耐用年数が25年程度である。その時点でつないでもらえば良い。



つつじヶ丘団地のコミュニティプラント内

《委員より、つつじヶ丘団地の事業費1000万円を削除する修正案が提出され

い。住民の要望で対応する。

問 公共下水道にしないといけない理由は。またコミュニティプラントが老朽化しているのに、新設した場合の試算はしているのか。

答 補助事業があるのは、漁業集落、農業集落、公共下水道事業しかない。コミプラは、単独事業しかない。18年度に試算をしているが、7億円から8億円程度であった。

問 農業集落排水事業特別会計の質疑の主なもの

問 施設の利用世帯数と人口の増減はどうか。

答 利用世帯が368世帯の569人である。昨年度より4人の減である。

問 農業集落と公共下水道の利用者負担の比較は。

答 農業集落排水は、世帯割りや人数割りである。公共下水道は、従量制であり一概に比較ができない。

問 飲料水供給施設特別会計の質疑の主なもの

問 日吉地域から配管の考えはないのか。

た。提案理由は、①ルート変更して4億円程度経費削減をしたが、積算が甘いのではないかと。②公共下水道が安くなるのは35年から40年先の計算である。質疑・討論の後、採決の結果、賛成少数で修正案は否決された。

問 未納者の今後の見通しは。

答 死亡者と破産者がいる。既に償還年度が終っており、市が立替え払いをしている状態。今後は、連帯保証人や抵当権等を調査して処分をしたい。

問 水道事業会計の質疑の主なもの

問 将来、市内で水不足はないか。

答 伊集院地域は、飯牟礼・清藤地区が予想される。東市来地域は、鍋山配水系が足りないのので下養母地区に掘削の予定である。吹上地域は、亀原地区の水源確保が考えられる。

問 住宅新築資金等貸付事業特別会計

問 質疑の主なもの

問 死亡者と破産者がいる。既に償還年度が終っており、市が立替え払いをしている状態。今後は、連帯保証人や抵当権等を調査して処分をしたい。

住宅新築資金等貸付事業特別会計

質疑の主なもの

問 未納者の今後の見通しは。

答 死亡者と破産者がいる。既に償還年度が終っており、市が立替え払いをしている状態。今後は、連帯保証人や抵当権等を調査して処分をしたい。

水道事業会計

主な事業は、伊集院北地区の水道未普及地域解消事業、第1水源取水施設の整備、配水池等への水道管布設、日吉・吹上地域の水道台帳整備、給水量確保対策で長里伊作田配水池の滅菌室やポンプ室の整備、鍋山配水系の水源確保、吹上地域の水源確保のための電気探査などである。

問 将来、市内で水不足はないか。

答 伊集院地域は、飯牟礼・清藤地区が予想される。東市来地域は、鍋山配水系が足りないのので下養母地区に掘削の予定である。吹上地域は、亀原地区の水源確保が考えられる。

問 質疑の主なもの

教育文化常任委員会

平成21年度一般会計

歳入の主なものは、学校施設使用料、社会教育施設使用料、保健体育施設使用料、幼稚園使用料、伊集院中学校舎二期工事分の国庫負担金、チエスト小鶴ドームネーミングライツ料などである。

歳出の主なものは、スクールソーシャルワーカー実践研究事業、理科支援員



伊集院小の英語教育の風景

等実践研究事業、子ども支援センター事業、耐震診断委託料（鶴丸小・住吉小・日新小・東市来中・土橋中・吹上中）、伊集院中学校舎建設、文化施設指定管理料などである。

質疑の主なもの

問▼20年度に小学校英語活動など、国際理解活動推進事業により大きな成果があった。英語指導助手の今

後の取り組みは。伊集院小以外の学校へ英語指導の充実をどう図るか。

答▼英語指導助手は、伊集院小が19・20年度にモデル校として実施した。担任は文科省が配布している英語ノートなどで授業をする。教職員は、昨年2回伊集院小での研究公開を參觀した。今後も各学校での研修は必要であり、特に5・6年生の担任は不安であると思う。教育委員会として今後さらに支援していきたい。

問▼薬剤師の報酬は、他市町と比較して安いのではないかと。

答▼4地域で報酬にバラツキがあり、調整している。平均で4万7000円である。他市の状況や業務内容も比較して今後検討する。

問▼学校耐震診断を実施した数は。

答▼20年度実施は、伊作田小・飯牟礼小・日置小・和田小・日吉中である。21年度に鶴丸小・住吉小・日新小・東市来中・土橋中・吹上中の予定である。22年度で残りの上市来小・美山小・吉利小・扇尾小・永吉小・伊集院北中で全て終了する。



チエスト小鶴ドームで開催されたイベント

り、待遇改善は検討しないのか。

答▼指導員30人分の保険料が年間470万円程度になり、経費がかかるので社会保険はない。月14日以内で雇用している。

問▼伊集院文化会館・東市来文化交流センターは指定管理者だが、市民が使用する場合の免除など優遇措置はないのか。また指定管理者としてのメリットは。

答▼市の使用条例に基づき徴収している。市が使用する場合も使用料を支払っている。市民も同様である。指定管理者の舞研は、音響や事業企画などの専門業者である。

問▼チエスト小鶴ドームの利用状況は。

答▼21年2月末で2万6882人である。当初計画より上回っている。学生・社会人等の合宿や大会行事等雨天時も開催できるメリットがある。宿泊や弁当注文等で経済効果もでてくる。他の施設で陸上競技場が4万5669人、体育館が5万5996人の利用がある。

問▼日置市学習アシスタント派遣事業で謝金の内容は。

答▼鹿児島大学の教育実習を終えた学生が、市内の複式学級の授業を支援して謝金をもらっている。複式学級のある8校に年間80日で、1回当たりの謝金は交通費を含めて2000円である。32人の学生が参加している。

問▼中学校の卒業式などで、不登校による欠席の実態は。

答▼30日以上欠席した生徒は、小学校6人、中学校43人である。卒業証書をもたわなかった生徒はいないが、親の代理受領はあった。

問▼社会教育指導員は、社会保険もなく月額10万円弱の報酬である。利用者も多く苦勞している施設もある。

一般質問

これから どうする！ 日置市

3月定例会では13名の議員が登壇し、
日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



坂口 洋之
議員

質問1 誘致企業等撤退のないような取り組みは

不況で、本市の誘致企業等でも非正規労働者を中心とした雇用の打ち切りが続いている。実態はどうか。また、全国的に誘致企業が撤退するケースもある。地域経済としては、重要な雇用の場でもある。経営状況を見て、税の軽減等を考えないか。

答弁1 交流会などで企業等と信頼を築きたい
【市長】

市内の有効求人倍率は、0.44倍で新規求人も少ない。誘致企業との異業種交流会などで情報を共有し、信頼を築きたい。税の軽減等は考えていない。インフラ整備に努めたい。

質問2 障害者雇用を進めるべきでは

障害者をもつ家族から、仕事がなく先行きが不安との声を聞く。特に障害者雇用は大変厳しい。本市の障害者雇用の実態はどうか。市役所でも多くの障害をもつ職員が嘱託・臨時雇用である。今後、正規職員として雇用確保等を考えるべきではないか。また、臨時・嘱託職員の採用で障害の種類も考えるべきでは。薩摩川内市では聴覚障害者が働いている事例もある。

答弁2 市役所は法定雇用率を確保している。今後とも努力する
【市長】

障害者雇用率を達成している事業所は、伊集院公共職業安定所管内で、39事

業所のうち29事業所である。市役所は法定雇用率を確保している。今後とも適材適所を考え努力したい。

質問3 市の臨時職員のやる気を引き出す取り組みは

今まで臨時・嘱託職員の待遇改善について質問してきた。本来ならば正規職員で対応しなければならぬ部門もある。増え続ける非正規職員のモチベーションをどのように考えるか。

答弁3 民間を考慮して賃金改善・研修等の充実をはかる
【市長】

質問4 市内物産館を観光に活かせ、観光業者や観光協会との連携を

新幹線の全線開通後は市内バス周遊ルートの可能性がある。本市の物産館で買い物をして薩摩川内市から新幹線で帰るケースも想定される。関係機関との連携強化とPRをすすべきでは。

答弁4 積極的に取り組んでいきたい
【市長】



観光への活用が期待される物産館
(かめまる館・吹上)



坂口ルリ子 議員

質問1 合併後4年間の市政のこれまでとこれからについて

この4年間多事多難であったと思う。小泉構造改革、三位一体の路線で自治体はどうなったのか、検証すべきではないか。自民党をぶっ壊すといってきたが、国民の暮らしをぶっ壊したように思う。市長の考えを伺う。

答弁1 4町の一体化を進めて、各種の会合で現状を話してきた【市長】

昨年の暮れから景気の低迷で市民の暮らしも大変。市民の声を聞きながら、市民のための市政を進めていく。

質問2 美山の東郷記念館の活用について

八島太郎生誕百周年記念展では、多くの観客が訪れ盛況だった。中身が良ければ多くの人を呼び込むことができる。記



小松帯刀公が眠る園林寺跡のボランティアガイド

念館の名称を「日韓親善陶芸美術館」に変えたらどうか。

答弁2 名称は公募で決めたので変更できない【市長】

国土省の補助を受けて建てた館で、名称は公募で決めたので変更できない。指定管理者と話し合っって多くの人が来るような方向へ中身等を一考する。

質問3 募金のあり方について

赤十字、赤い羽根、みどりの羽根、護国神社等、募金のあり方の基本的な考え方を伺う。目標があり、それに近づけたことだが、押し付けではないか。

答弁3 募金（寄附）なので強制はない【市長】

赤十字と赤い羽根募金は社協が、護国神社費は奉賛会が、みどりの羽根はみどりの推進協議会が管理している。

質問4 ご意見箱の状況は

答弁4 44件の意見・要望があった【市長】

公園の除草が足りない、通学路が危ないなどあり、すぐに対処している。

質問5 歴史の語り部を育てるについて

篤姫ブームで日吉の園林寺跡へ観光客が訪れ、ボランティアガイドが、説明をしておられる。高齢なので、語り部を市で育てて欲しいとの要望があるが、どう考えるか。

答弁5 小中高に呼びかけていく【市長】



成田 浩 議員

質問1 第一次総合計画の進捗よく状況について

4町が対等合併して日置市が誕生した。「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」を基本理念としているが、10年間の計画の前期の評価はどうか。

答弁1 80%の達成率である【市長】

地域的なバランスを考えながら、社会的にもどこにいても不便さを与えない交通網の整備など、旧町時代の継続事業が80%ぐらい占めている。満足ではないが、一生懸命やってきました。

質問2 歴史・文化資源について

東市来は薩摩焼、伊集院は妙円寺詣り、吹上は流鏑馬、日吉はせつべとべ。それぞれの行事が市の内外に誇れるものである。

氏子さん達の努力により、せつべとべのデオドンが新しくなった。六月の祭りの時に台車に乗せて御神田の周りを廻るが、その道が砂利道で凸凹している。舗装化しないと進まないが工事ができないか。

答弁2 現場を調査して検討する【市長】

地域で守ってきた祭りなので、道路整備等、緊急性があるのか、予算的にどうか、調査して対応したい。

質問3 日吉地域の振興について

小松帯刀公の墓地は今後の観光資源となる。観光ルート上にあり、墓地整備や駐車場や休憩所、トイレ、資料館等の施設整備が求められるが、どうか。市民病院で、足湯等の癒しとふれあいの広場ができないか。

答弁3 県と協議して努力していく【市長】

中山間整備事業等を使い進めることも考えられる。鹿児島地域振興局と打ち合わせで努力していく。市民病院は、財源を伴うことなので、皆さんの意見を聞きながら考えたい。



40年続く泥んこ祭り「せつべとべ」のデオドン



でみず
出水賢太郎
議員

質問1 飲料水の水源確保、水道施設の改修をどう進めていくのか

亀原水源の取水停止、石綿管の布設替え、漏水など課題が多い。生活の基本「飲料水」をどう守るか、行政の大事な役目であるが、どのように対策を行うのか。

答弁1 水量の少ない地区もあり、新たな水源の確保に努めたい【市長】

亀原水源の取水停止に伴い、日吉・吹上間の連絡送水路を工事し、安定供給を図る。また、水量不足の地区では新たな水源確保のため、電気探査を行う。石綿管は伊集院で800m、東市来で918m残っているが、年次的に布設替えを行う。漏水は19年度で246件あり、補修費は約2千万円であった。今後は、最大の課題である水源の確保と、水道台帳や水道監視システムの整備に努めたい。



県道改良と同時に行われる水道管布設替工事

質問2 水道未普及地域の解消と飲料水の安全確保を急げ

水道未普及地域の上・中・下神殿地区は21年度着工だが、麦生田地区の整備はどうか。未普及地域では、家用井戸水で飲用不適の場所がある。市は水質検査などで実状を把握し、生活に支障が出ないよう対応すべきと思うがどうか。

答弁2 麦生田地区の整備へ向けて、説明会を開催したい【市長】

麦生田地区の整備には9割の同意が必要なので、自治会で説明会を開催したい。未普及地域の飲料水の水質問題は、水道課で調査を行いたい。ただし、家用井戸水は自己管理が原則なので、各自で対応願いたい。

質問3 災害時の飲料水の確保と、供給体制はどうなっているか

非常時の水の確保が大事だが、備蓄などはどうなっているか。また、災害復旧に要する時間などは検討しているのか。

答弁3 給水車やタンクの配備を進め、万々に備える【市長】

防災計画を策定しているが、復旧時間などは検討していない。万々に備え、管工事組合と連携し、研修を行いたい。災害時に生命を維持するために必要な量、一人1日3リットルを確保できるように、妙円寺配水池（貯水量2300t）では、災害時に緊急遮断弁を動作させる。さらに、災害に強いステンレス製の配水池を市内11カ所に設置しており、給水できる体制をとっている。また、2リットルのペットボトルを本庁に120本、各支所に60本備蓄し、避難所に配置する。給水車やタンクの配備で、万々に備える。



重水 富夫
議員

質問1 過去4年間の市政の感想は

①市長は4年間の任期を終えるに当たり、施策の成果と満足度をどう思うか。
②新規事業、完成途中の事業など、今後の考えを伺う。

答弁1 残任期間全身全霊で頑張る【市長】

①残された任期を全身全霊で頑張る。
②たくさんやり残しがある。

質問2 国の緊急対策事業交付金の活用を急ぐべきでは

①3月補正予算で計上した対策の執行を急ぐべきでは。
②非正規労働者等の雇用対策は十分か。今後の対策の考えは。
③国の定額給付金の活用策は。
④プレミアム商品券等の活用、市独自の活用方法の考えは。

答弁2 可能な限り前倒し実施で行う【市長】

①介護従事者の処遇改善、子育て応援、林業木材産業の構造改善、地域活性化、生活対策臨時交付金事業等21年度事業を前倒しで実施する。
②各企業からの正式な解雇の人数は把握していない。市でも4月以降雇用の募集を行いたい。
③プレミアム商品券以外は考えていない。
④商工会でプレミアム商品券を1億5千万円分発行する。

質問3 一般廃棄物の収集運搬業務委託について

①新年度の業務委託は、指名競争入札、随意契約など、どのような方法か。
②各地域では契約内容にまだ、ばらつきがある。統一の考えは。
③グリーンリサイクルセンターの持ち込みに、運営面で不都合はないか。
④業務運営上、一元管理が必要と思うが、市長の考えは。

答弁3 1年間かけてスムーズな運営を目指す【市長】

①昨年度と同様、指名競争入札と専門分野での随意契約の2つの方法で行う。
②今後検討し、来年度以降は、統一した方法で行いたい。
③分別等、徹底した管理指導を行う。
④センターと市民生活課を統合する。



グリーンリサイクルセンターの分別作業



日新公誕生の地亀丸城跡（吹上）



長野 肇
議員

質問1 日新公生誕地の誇りを活かし、大河ドラマ誘致運動のアピールを

薩摩義士・江戸城無血開城・明治維新などの原動力になった薩摩士魂は、中世時代から脈々と続く郷中教育やいろは歌の教えにある。日新公や母親の梅窓院・雪窓院等を取り巻く人々を描く大河ドラマの放映を、篤姫効果があるうちにアピールし、まちづくりや教育に生かすべきと考えるがどうか。

答弁1 今後NHK等に出向き話を進める
【市長】

NHK大河ドラマの人物像は全国的に有名でなくても、生き方や考え方に教わるものがあるかで題材が選ばれる。梅窓院の影響を受けた日新公のいろは歌や郷中教育の教えは誇りであり、十分に訴え

られるのではないかと。NHKや歴史家と話をした経緯もある。市民への誇りの醸成や講演会、名所旧跡をつなぐ「いろは道」等も、関係する民間団体と共に検討したい。

質問2 梅窓院ゆかりの地、串間市との交流を図るべきでは

祖父島津久逸は梅間城の地頭であった。また、母親梅窓院のゆかりの地でもある串間市は、薩南学派に影響した桂庵禪師と最初に会見した場所である。日新公顕彰のためにも積極的に交流を図るべきと考えるがどうか。

答弁2 民間レベルとの交流を進め、行政は後から
【市長】

串間市との交流は今後、民間団体から入り、その後、行政が取り組むべきと考える。

質問3 県教育基本計画に基づく郷土教育や地域文化の継承の取り組みは

県の教育振興計画に今後5年間の郷土教育や地域文化の継承・発展が掲載された。市の魅力ある教育像や今後の取り組みは。

答弁3 今後、市独自の教育振興基本計画を策定する
【教育長】

県の教育振興基本計画を受け、郷土教育については、①史跡見学、歴史民族資料館の整備・利用を進める②郷土芸能や伝統工芸の体験、郷土の先人の学習充実③各地域伝統文化の継承の仕組みづくり等に取り組む。また、市独自の教育振興基本計画を策定し、いろはカルタ大会など地域の良さを推進し取り組みたい。



西原 典子
議員

質問1 川内原発3号機増設への危機管理体制は

世界最大の原発増設が予定されている。近隣にありながら関心も薄く、情報も恩恵も除外視されている。川内川水量にも匹敵する冷却に利用した温排水の漁業への影響も心配される。放射能の情報把握で有事のいち早い対応など、市民を守る体制が必要ではないか。

答弁1 重点的防災対策区域からは外れている
【市長】

原子力安全対策会議は範囲を10kmと定めて対応している。有事にはオフサイトセンターに対策本部を置く。県や市町村は共に情報提供や避難などを決定するが、消防団などと研修していかなければなら



情報化タウン構想のイメージ図

ない。温排水の影響は直接的にはないと思う。

質問2 日置市情報化タウン構想はどうなったのか

中心部と周辺部との格差解消、双方向性の情報共有で、どこにいても不便を感じない町づくりの柱として、市内の公共施設を光ケーブルで結んだ。後は、防災無線の統一や、インターネット・携帯電話の不通解消、IP電話やケーブルテレビで市の産業振興、福祉や行政の利便性向上を目指していた。国の3分の1補助を受けて市内全域の地デジ対応も合わせて計画していた。平成20年2月、突如見直してしまった理由は。

答弁2 市民の理解が十分得られなかった
【市長】

説明会とアンケート調査をしたが、理解が少し足りず、議会の意見も割れていた。地デジ対応や総務省への期限に迫られており、市長が見直しを決めた。

質問3 変更に対する説明責任と今後は

合併協議や日置市総合計画の見直しと、目玉であった全戸への地デジ対応の挫折に対し、説明責任が十分に果たされていないのではないかと。

答弁3 広報ひおき臨時号発行と共聴組合への説明をしている
【市長】

地デジ対応は組合に説明し、防災は無線統一で補助金を捜す。中川・永吉など要望の対応や携帯電話不通話解消など時間がかかるが、少しずつでもやっていく。決めることの重大さに関して、このことを教訓としたい。



花木 千鶴
議員

質問1 公共下水道整備計画の議会説明は十分か

旧町時代には、コミプラ未加入者の不同意、町の財政負担が大きい等を理由につつじヶ丘団地下水道区域指定がされなかった。経過説明と事実が矛盾している。

①地元が同意したとの説明だったが、実際はその一年後の同意だった理由は。

②コミプラ未加入者向けの説明会は。

③平成16年度には下水道の方針だったというが、議会の説明と違う理由は。

④梅落と麦生田中集落の流入は可能か。

⑤3つの計画の中で議論し、良し悪しを決めたが、この地域にとっても市の財政上も、もっと効果的な方法が他にあるのではないか。なぜ下水道なのか。

⑥管路変更で工事費4億円とランニングコストが年間1千万円安くなるというが、管路沿線上の状況や終末処理場の能力を考慮すると積算通りにはいくのか。

答弁1 審議会に十分な資料を提出した。

【市長】

- ①下水道課が検討していた。
- ②していない。自治会だった。
- ③国や県と協議する中で可能となった。
- ④麦生田からの要望はない。今回はつつじヶ丘の問題である。
- ⑤大まかな調査で、約30年前の管が使えるか問題だった。使えるため。
- ⑥国県との協議が必要。処理能力は、妙円寺団地の人口増も見込めず問題ない。



用水路沿いに布設予定の下水道管

質問2 指定管理者からの管理料変更申請には応じるか

「ゆーぶる吹上」の平成20・21年度の決算見込額が808万円不足するため増額の補正予算が計上された。指定管理者である管理公社は、市の委託事業を多く受託している。公社全体の経営状況や「ゆーぶる」の会計状況を明らかにしないで増額するのは認められない。21年度分を債務負担行為としているが、決算時に判断すべきでは。

答弁2 申請があれば協議に応じる

【市長】

収入見込みが甘かった。来年度も増加しないと見通した。

質問3 パブリックコメントで苦情がきたが

個人情報保護、情報公開の趣旨に反したのでは。

答弁3 趣旨に沿わない処理があった

【市長】

今後職員の周知徹底に努める。



田畑 純二
議員

質問1 合併後4年間の市政総括について

- ①合併後4年間の市政総括はどうか。
- ②合併して市民にはどのようなメリット・デメリットがあったか。
- ③均衡ある発展と市民の一体感醸成のために、市政をどのように運営してきたか。
- ④市民の将来への不安の対応策は。
- ⑤過疎少子高齢化、人口減への対応は。

答弁1 力不足もあって大きな成果があがっていない

【市長】

- ①市民の皆様には迷惑をかけた面もあるが、本当に一体化は難しい。
- ②効果は早急には出ない。サービスが悪くなったとか、情報が入らなくなったとか聞く。
- ③地区振興計画をしっかりと運営する。
- ④社会保障問題等、国の制度に対する説明責任を果たしていく。
- ⑤早急に対応していく。

質問2 第一次日置市総合計画について

- ①まちづくりの基本理念を市民にどう認識してもらっているか。
- ②市の将来像に対する達成度は。
- ③分野別振興方向の中で、進んでいる分と遅れている分は何か。
- ④地域別振興方向の中で、4地域の課題は何か。
- ⑤日置市創生プロジェクトの進ちよく状況は。



日置市の将来像が策定されている総合計画

答弁2 インターネット等で情報を公開していきたい

【市長】

行政と市民が共生協働できるようにしたい。主要施策の中で継続的に進める項目があるので、今後も進める。地区振興計画を基に進めていきたい。

質問3 市長の政治姿勢について

- ①開かれた市役所にするために、市政をどう進めていくか。
 - ②首長に不可欠なものは何であるか。
 - ③三役の更なる給与と退職金の削減は。
 - ④議会の提言をどうするか。
- 答弁3 市民の声を十分取り入れていき
- 【市長】
- ①市民にも参画して頂きたい。
 - ②市民の声に耳を傾ける。現場と地域行事に出かけ生の声を生かしていく。
 - ③組合で検討する。
 - ④真摯に受け止め実施する。



老朽化が進んでいる銀天街の街路灯（伊集院）



佐藤 彰矩
議員

質問1 商店街振興策について
街路灯整備に市の補助を

集落の防犯灯設置には補助等があるが、商店街の街路灯設置には条例も要綱も対象がない。老朽化が進み、建て替えが必要と思うが、補助等の考えは。

答弁1 市として新たに要綱を制定したい
【市長】

建て替えの時期であることは認識している。地元の負担が軽減できるように補助事業への要望を続けながら、新たな要綱整備に向け、話を進める。

質問2 商店街に市営共同駐車場の設置
はできないのか

個々の店、通り会では集落的駐車場の確保は難しい。空き地等を活かして市営共同駐車場の設置はできないか。

答弁2 商店街が主体的な場合は検討していく
【市長】

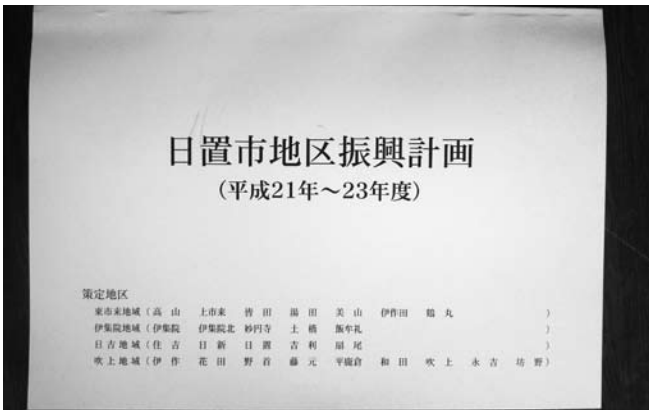
商店街の駐車場確保は必要不可欠と認識しているが、立地条件や土地の確保諸費用など、解決すべき問題が多い。商店街が主体的に取り扱う取り組みについては、どう助成するか方策を検討したい。

質問3 商店街の空き店舗対策を行政と
してどう考えているのか

経営者の高齢化や大型店の進出により、廃業、休業または破産した店が多くなった。このままではまだ増えると考えるが、行政として空き店舗対策をどう考えているのか。

答弁3 商工会等が主体となり取り組む
よう呼びかける
【市長】

空き店舗の活用を図ることは、商店街に賑わいを取り戻す最も効果的な対策だと考える。また、自助努力には限度があると認識している。旧4町の商店街には住宅と併用の店が多く、老朽化した店舗が多い地域もある。国の「魅力ある商店街活性化支援事業」等を導入することにより、地元関係者が中心となって空き店舗対策が推進できるよう、事業主体となる商工会や商店街通り会等と呼びかけを行っていききたい。



26地区の課題が詰まった校区振興計画



上園 哲生
議員

質問1 地区振興計画具現化の方策は

本庁を中心に広域自治体が誕生し、以前はもつと身近に感じた「役場」を心理的にも遠くに感じる中で、各自治会からの要望、課題がいつぱいつまつた計画が26地区の振興計画として上がってきた。1800件程の案件にどの様な方策で臨む考えか。

答弁1 約1億2千万円基金設立、補助
等を活用
【市長】

国の平成20年度第二次補正予算「地域活性化生活対策臨時交付金」の中から、1億2千5百万円を「地域づくり振興基金

金」として設立した。市単独事業の余り多くの資金を要しない身近なものに、地区館毎に協議をし、優先順位を決めていただき、21年度中に取り崩し9月頃から執行していく。また、大きな事業費を要するものには、国・県補助事業を活用して本予算の中で対応していく。東市来・伊集院地域では、5年間で各々約15億円程の事業費規模の中山間地域総合整備事業が後2年間残っているため、対応するが、追加事業はなかなか認められないので、他の事業も検討していく。日吉・吹上地域では、中山間地域総合整備事業を平成23年度からの活用に向けて、計画中である。

質問2 要望を計画に入れるのを忘れた
場合はどうする

各自自治会の中には、経験豊かな役員が揃っているところもあれば、まだ自治会の地域内を良く把握できていない役員の方もあり、自治会、地区館も様々だと考える。そのため後から出てくる要望、また新たに出てくる要望に対して、どう対応する考えか。

答弁2 毎年計画見直しを行う【市長】

この基金1億2千5百万円の配分は、今後の課題であるが、この交付金の趣旨が過疎地域を元気にするということであるので、中山間地域、不利益な所を重点に配分していこうと考えている。毎年この地区振興計画を見直しながら、新たな要望にも対応していきたい。



漆島 政人
議員

質問1 11億もの巨額投資を伴う伊集院駅周辺整備が必要か

現在本市では、財政の健全化に向け、行革や予算規模の縮小に取り組んでいる。しかし、その一方で老朽化した学校施設等の改築や耐震化、防災無線の設備更新、また上下水道の整備やし尿処理対策など緊急性の高い事業が山積している。さらに、今日の不況対策や周辺部の過疎対策など喫緊の課題も多い。そうした中2月末、伊集院駅周辺整備計画が発表された。整備概要は駅の北側と南側を4mの連絡通路橋で結び、駅舎や改札口もその中心部に整備する計画である。なぜこの時期に巨額を投じた駅周辺整備が必要か。またこの事業を優先する理由と投資効果をどう認識しているのか。

答弁1 総合振興計画の重点項目に位置付けてある
【市長】

以前から駅北口設置要望が駅前商店街や伊集院高校同窓会から出されていた。連絡通路の整備やバリアフリー法によるエレベーター設置等により駅利用者や地域住民の公共の福祉に寄与できる。また朝夕の駅前広場の混雑解消や道路と鉄道等、その他交通施設との結節性の向上を図るためにも今整備が必要であると判断した。

質問2 学校の改築や耐震化、過疎が深刻化している周辺部対策が先では

現在計画されている学校や公営住宅の改築や耐震補強、また上下水道整備や区



整備が計画されている伊集院駅

画整理事業など、義務教育や住民生活に必要な緊急性の高い事業費だけでも簡単に100億を超している。また中心から一番離れた吹上地域は、合併後児童数が急減し高齢者世帯だけが増えている。このことを考えれば事業の優先順位が違うのではないかと。

答弁2 国庫補助と、JRの協力が得られる今、整備を進める
【市長】

現在、一日の利用者数5030人と見積もっている。一日5000人以上の利用があれば国庫補助の採択要件をクリアできる。またJRに求められているバリアフリー化の整備期間も平成22年度までとなっている。したがって、今整備を進めていきたい。



鳩野 哲盛
議員

質問1 病院事業運営審議会の審議内容と今後の運営方針について

日置市民病院は今回病床数19床に減らして診療所として平成22年4月から再スタートする予定。病院事業運営審議会が開かれ、いろいろの案の中から最適な案として議会に提示された。審議会の内容と今後の方針について伺う。

答弁1 かりつけ医的存在にし、少数精鋭でいきたい
【市長】

医師2人体制、職員を現在の49名から22名とする。病床数は現在の50床を19床とし、療養病床を6床とする。委員は鹿大教授、税理士と地域代表5名で構成し



22年4月の開業に向けて工事が進む診療所予定地

ている。赤字を黒字にするにはどうすれば良いか、診療科目の検討、職員体制の検討等審議してもらった。民間委託できる分は委託し、少数精鋭での黒字経営を目指す。

質問2 医師の確保が困難な状況だが、どのように対応するつもりか

医師2人体制をとる方針だが、全国的にも医師の確保が問題となっている。鹿大医局との連携はうまくいっているか。

答弁2 鹿大医学部との協議の中で確約できている
【市長】

日吉町時代からの信頼関係の蓄積で医局との連携があり、今後2人体制について確保できるよう努力したい。

質問3 病床数の減で現在の患者の処遇はどうするか

現在入院している患者は、病床が減ること退院を余儀なくされる。本人は勿論、家族も不安で心配だ。どのような対策を講じるか。

答弁3 介護度に応じて近くの施設に移動してもらう
【市長】

36床の療養病床があるが、現在患者の介護度を調べている。今後家族とも話し合いを重ねて、近くの特別養護老人ホームか老健施設・グループホーム等に相談したい。

質問4 職員数の減についてはどうやって対処するか

答弁4 話し合いの中で進めていきたい
【市長】

人件費率が70%を超えている。正職員11人、臨時職員11人体制とするため、関係の部署や市長部局との連携で対応する。

議会審議の追跡調査

市民の声はどう活かされたか？



初めて開催された交流会

プレミアム商品券の発行を!!

地域活性化のために市内共通のプレミアム商品券を商工会合併を機に考えないか。

市長の答弁は…

農業後継者の花婿・花嫁対策は!!

農家の後継者への花嫁・花婿対策をどうするのか？

市長の答弁は…

できる限り対応する

大事なことなので、今後も関係機関団体等と連携を密にし、できる限りの対応をする。

その後、こうなりました!

平成20年10月に交流会を開催!!

10月18日～19日に男性21名・女性22名で交流会を開催した。

必要であると考え

商工業の活性化の面で必要であると考え。4地域商工会の統一的な見解で市としての対応を考えていきたい。

その後、こうなりました!

平成20年10月1日に販売!!

1万円で1万1千円分購入できる「とくとくひおき券」を商工会にて販売。



今年の販売は、5月18日からです

市内のブロードバンド 未普及地域解消に向けて

調査日：平成21年1月20日



《ブロードバンド
実証実験の
進捗よく状況》

市内のブロードバンド未普及地域解消のため、光ケーブルと無線を組み合わせた実証実験を永吉地区（吹上）と中川地区（伊集院）を対象に行っている。

・業者からの提案方式で、無線LANとADSLの両方を比較した提案があった。

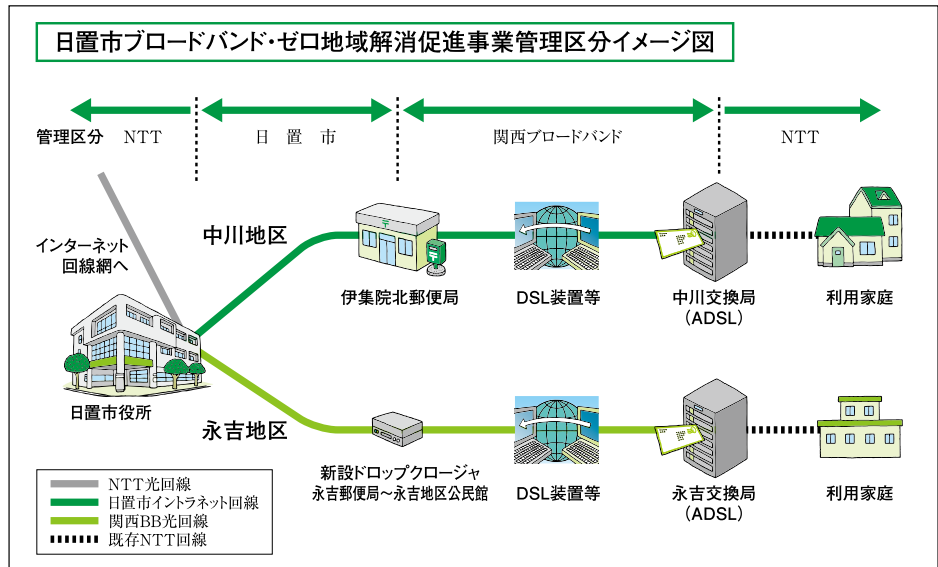
〔無線LAN〕
事業主体が日置市となる。市全域をカバーするには、アンテナ設置など費用がかかる。

〔ADSL〕
民間事業者が主体となり、運営する。

伊集院北郵便局と永吉地区公民館には、市が敷設した光ケーブルがある。そこから永吉・中川の各交換局へ光ケーブルを敷設して、装置機器を設置することにより、交換局に繋がっている世帯全てがカバーできる。費用は、県の補助金もある。

〔結果〕
ADSLの方が無線LANよりも財源や地域の大部

日置市ブロードバンド・ゼロ地域解消促進事業管理区分イメージ図



ブロードバンド・ゼロ地域解消のイメージ図

分をカバーできるなどメリットがあるため、ADSLを採用することになった。

※無線LAN：無線回線を利用してデータの送受信を行うコンピュータネットワーク。

※ブロードバンド：インターネットなどのネットワーク回線の高速化。

※ADSL：電話線を用いた高速なデータ通信を行う技術

環境福祉常任委員会〔所管事務調査〕

法改正で今後の

療養病床再編の影響は

調査日：平成21年1月30日

《調査の目的》

・医療施設における医療療養と介護療養の実態
・医療制度関連法に伴う今後の療養病床の再編

《調査場所》

医療法人博悠会 温泉病院
医療法人杏林会 丸田病院

《医療制度改革関連法制定による影響》

・老人保健施設や特別養護老人ホームへの療養病床からの患者移動は簡単でできない。結果的に介護難民の増に繋がる。
・高齢者の重症化が増え、対応に苦慮する。

《療養病床の再編成計画に対する今後の見通しと対策》

・医療ができる老人保健施設の設置。



調査先で説明を受ける委員

- ・医療療養への転換。
- ・リハビリの強化。
- ・一般病床への転換。
- ・老人保健型の療養施設への転換。

《委員の意見》

- ・大変複雑な状況である。国の政策と医療現場が合っていない。
- ・国の考え方、医療費抑制は理解するが、療養病床を廃止すれば、急性期・回復期の受け皿が準備できない。人材の確保も含め受け皿の充実が必要。
- ・医療費が上がらないようボランティア育成も含め効果的な施策が必要である。

《本市として》

現状では、介護難民が増えるのは必至である。老老介護も限界である。近くに子どもが住んでいても見てくれない親子も出てくる。机上だけでなく現状をしっかりと捉え、高齢化率の高い日置市だからこそできる「福祉環境」を整備すべきである。

教育文化常任委員会（所管事務調査）

小学校の英語教育の準備は

調査日・平成21年2月18日

《文部科学省指定「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校である伊集院小の現状調査》

【概要】

2011年度から小学校5・6年生で必修化される。それに先駆けて伊集院小では文部科学省の推進事業を受け、19年度から20年度にかけて取り組んでいる。

【職員研修】

英語活動が小学校に導入されるに当たり、多くの職員は不安を抱えている。授業研究を行い、互いの課題など出し合った。また外部の英語指導者を招き実技研修をして、指導法や効果的な活動を授業に活かした。

【まとめ】

小学校での英語教育は、これからの国際化が進むのを考えれば、国際感覚を養

うために重要である。伊集院小では、文科省の指定を受けることにより、外部の指導者を使い、きちんとした指導のあり方を学ぶ機会を持ったことは大変良いことであった。

【現状と課題】

通学路は交通安全対策、防犯対策を学校・地域・社会・家庭が連携して、未然に防ぐよう日夜努力をしている。

しかし、狭い歩道の未整

今後、学級担任が指導するが、職員の負担軽減、各学校間の格差是正、研究校としてリーダーシップが課題となる。

《小・中学校の通学路安全対策の現状》



英語教育の授業を調査する



通学路の安全対策などを確認する

備や車の乗り入れによる段差で起伏が著しい場所などがあり、自動車と歩行者等が交錯して危険な箇所もある。

【まとめ】

歩道の未整備、ガードレールや信号機の設置、狭い県道・市道など様々な課題がある。

通学路の交通安全対策や防犯対策など安全な環境となるよう、関係機関と連携

議会傍聴に 来てみませんか？

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿にご住所・ご氏名を記入していただくだけです。



50席ある傍聴席（市役所本庁4階）

**市民のみなさん、市内の公共施設で
議会中継を見ることができます！**

《次の場所で議会中継を行っております》

市役所本庁1階ロビー、各支所1階ロビー、各地域中央公民館、
各地区公民館、美山陶遊館、ゆすいん、市民病院、
日吉保健センター、吹上砂丘荘

編集後記

激動の世界経済の中で、新生日置市一期目最後の定例議会を終えました。揺籃期の難しさ、旧町各々のやり方を統一的な方向でと理解はしていても、役所との距離が、物理的だけでなく心理的にも遠くに感じて「こんなはずでは」と不満募る思いの住民の方々も多かったのではと思います。それだけに明日への希望に燃えて、日本一住みやすい故郷づくりを目指して、邁進していかなければなりません。26地区から身近な要望や課題が、いっぱい詰まった地区振興計画が上がってきました。その具現化のための基金、整備事業の準備はできています。4年間の温かいご支援、ご協力に心から感謝を致します。ありがとうございます。

発行責任／議長

畠中 實弘

編集責任／広報編集委員会

委員長 並松 安文

副委員長 出水賢太郎

委員

花木 千鶴 坂口 洋之

門松 慶一 大園 貴文

鶴園 秋男 上園 哲生